

検 討 項 目

<東京一極集中の是正>

1 人の集中是正

(1) 教育の場としての関西

①学生の流出防止、さらには学生を呼び込むためにはどのようにすればよいのか

- ・若者にとり、魅力的な教育内容とは何か
- ・若者にとり、魅力的な教育環境とは何か
- ・若者にとり、魅力的な住環境とは何か
- ・関西の企業がこれから採用したい専門領域等は？
- ・関西の大学のPRの強化（関西発の情報発信の強化）

（例：大学箱根駅伝への関西各大学の参加の実現、大学箱根駅伝に匹敵する競技大会の関西での開催など）

②中年以降の世代にとり、魅力的な教育とは何か

(2) 働く場としての関西

①若者、女性、高齢者、外国人が働きたいと思える関西であるためには

②介護や育児と就労が両立しやすい関西であるためには

③多様な働き方

- ・テレワーク

④スモールビジネス等の支援 【資料1】【資料2】

⑤企業の希望する人材とのミスマッチの解消策

- ・再就職のための職業訓練

⑥Iターン、Uターン支援策

⑦企業の本社機能の流出対策

- ・税制 【資料3】

⑧世界を相手に稼ぐ関西（郡部で可能性が大きい観光業も含む）

- ・時代に対応した企業の業種転換ができているか 【資料4】
- ・関西の新たな企業集積の動きは？ 【資料5 (P.11~16)】
- ・知的創造の場 【資料6】

2 情報の集中是正

- ・情報発信（新聞やテレビ）

3 関西への投資を促進するためには（特に海外企業）

- ・税制 【資料8-2 (P25、28~33)】

- ・生活環境等 【資料7】

- ・関西地域の国際的なIRができているか（投資や観光に対して）

【資料8-1】【資料8-2 (P.22、24、25、28~33)】【資料9】【資料10】

4 関西をもっと便利に（郡部で暮らしても生活が不便でないように）

- ・e-governmentの普及 【資料11-1】【資料11-2】

- ・情報インフラの普及とコスト 【資料12】

- ・交通ネットワーク 【資料13-1】【資料13-2】【資料13-3】

5 国の機関の移転と連携

(1) 中央省庁等の移転と連携 【資料14】

(2) 在関西地方支分部局との連携

参 考

第2回（11月1日（木）予定）の検討項目（案）

1 国内における関西の位置付けについて

（1）関西の特性を活かすこと、関西の魅力の創出

①資源等の高付加価値化

- ・観光・文化資源
- ・科学技術資源
- ・自然環境 など

（2）西日本に目を向けた施策

- ・西日本における経済活動の拠点としての関西
- ・交通等インフラの整備

2 関西のそれぞれの地域の活力を失わないようにするためにはどうすべきか。

※第1回の結果を踏まえて検討項目を再調整します。